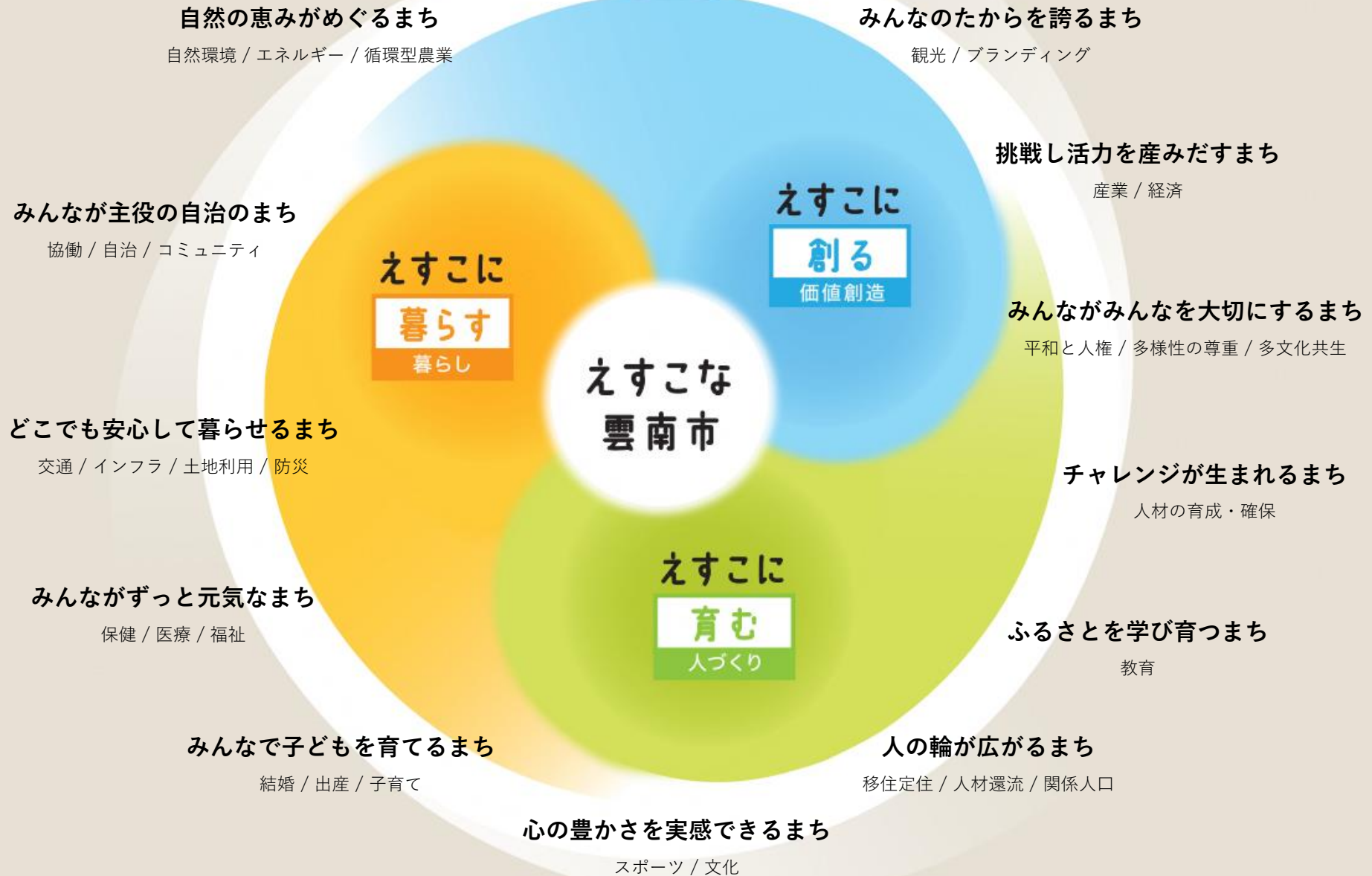


# 令和7年度 施策評価結果 ＜令和6年度実績＞



うんなん  
ビジョン  
2025-2034  
第3次雲南市総合計画

# 基本構想の「3つの柱」と「12の施策」



# 01.みんなが主役の自治のまち

《協働／自治／コミュニティ》

10年後のめざす姿：地域の特性や人のつながりをいかし、みんなでまちづくりが行われている

<重点KPI>

・地域活動や市民活動に参加していますか？（市民アンケート）

61.1%（R6現状値）



**61.1%（R6実績値）**



70.0%（R16目標値）

変えないこと（主な成果）



- 地域課題の解決に向けた取組事例共有や学び合いの場づくり
- 地域自主組織における担い手確保や関係人口拡大に向けた取組への支援
- 地域の共助を補完する住民同士の関わり合いの仕組みの創出



地域の取組座談会  
<持続可能型地域推進事業>

変えること（主な課題）



- 人口減少や高齢化の進展を見据えた今後の地域自主組織や自治会のあり方の検討
- 地域づくりに意欲的に取り組む人材の継続的な発掘、育成
- 若者や女性など、誰でも参画しやすい環境づくりに向けた地域の寛容性の向上

ネクスト  
アクション

- ・今後の地域自主組織や自治会のあり方を検討する
- ・地域づくり人材の発掘・育成のための講座を継続的に開催

## <01. みんなが主役の自治のまち> 成果指標（KPI）の状況

成果指標（KPI）	単位	実績値					目標値	実績値に対する評価
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R11年度	
地域の課題を地域で主体的に解決できていると感じる市民の割合 〈市民アンケート調査〉	%	37.5	35.4	35.1	37.3	<b>44.6</b>	50.0	コロナ禍が明け地域自主組織の活動が活発化しており上昇傾向。
助け合える地域であると感じる市民の割合 〈市民アンケート調査〉	%	72.0	71.9	72.4	73.6	<b>67.3</b>	75.0	自治会活動の縮小など地域のつながりが希薄化しており、今後注視が必要。
福祉ボランティア活動（見守り、声かけなど）をした市民の割合 〈市民アンケート調査〉	%	31.4	27.8	30.2	31.4	<b>28.1</b>	35.0	前年比やや減少しているが、概ね横ばいで推移している。
【新規】地域づくり活動に関わった次世代の人数（地域経営カレッジ参加者、地域の担い手育成事業利用人数）	人	—	—	—	—	<b>267</b>	300	地域経営カレッジなどを契機として地域づくり活動に参画する若者世代が徐々に増加している。
【新規】地域活動や市民活動に参加している20～40歳代の割合 〈市民アンケート調査〉	%	—	—	—	—	<b>53.4</b>	60.0	50代以上（63.2%）と比較して約10ポイント低い。
【新規】地域活動や市民活動に参加している女性の割合 〈市民アンケート調査〉	%	—	—	—	—	<b>51.2</b>	60.0	男性（72.0%）と比較し約20ポイント低い。

# 02.どこでも安心して暮らせるまち

《交通／インフラ／土地利用／防災》

10年後のめざす姿

そこに暮らす人が、住みよさ、暮らしやすさを実感している

<重点KPI>

・お住いの地域は安心して住みよいかと感じますか？（市民アンケート）

57%（R6現状値）



**57%（R6実績値）**



60%（R16目標値）

変えないこと（主な成果）



- 一畑バス大東線の廃線に伴い、松江市と共同で市民バス「大東松江乃木線」を運行開始
- 地域主体による防災訓練や災害時の安否確認など地域力をいかした防災対策の推進
- 空き家活用を促進する地域おこし協力隊の配置や地域自主組織を対象とした勉強会・座談会等の実施



R6.10月から「大東松江乃木線」運行開始  
<市民バス運行事業>

変えること（主な課題）



- 地域公共交通の効率的な運行体制の確立
- 道路・上下水道・情報通信網など公共インフラの更新・管理コストの適正化
- 指定避難所の生活環境の向上
- 空き家相談体制のワンストップ化及び地域・関係団体との連携強化

ネクスト  
アクション

- ・安全で持続可能な地域公共交通体系の検討・再編
- ・地域等と連携した空き家活用の促進及び市街地の空き家対策の推進

## <02. どこでも安心して暮らせるまち> 成果指標（KPI）の状況

成果指標（KPI）	単位	実績値					目標値	実績値に対する評価
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R11年度	
生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合 〈市民アンケート調査〉	%	65.2	63.9	66.8	63.7	<b>63.9</b>	70.0	市道、県道の整備に計画的に取り組んでおり、一定の水準を維持している。
市内の公共交通サービス（バス・JR・だんだんタクシー・デマンドバス）に満足している市民の割合 〈市民アンケート調査〉	%	51.7	53.2	53.0	51.7	<b>49.1</b>	60.0	やや減少しているが、概ね横ばいで推移している。
災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 〈市民アンケート調査〉	%	31.2	33.6	36.3	36.1	<b>51.1</b>	70.0	防災に関する家庭の関心は高まっている。
自主防災組織の防災計画の策定率	%	36.7	36.7	50.0	56.7	<b>70.0</b>	100.0	地域での出前講座や避難訓練など自主防災組織の活動が活発化している。
空き家バンクの成約実績	件	43	28	35	27	<b>23</b>	40	空き家の利用希望者のニーズに合う物件が少なかったことから成約件数が減少。
【新規】空き家課題に対する取り組みを行っている地域自主組織数	組織	—	—	—	—	<b>3</b>	15	空き家活用事例の共有会などの働きかけにより地域の取り組みが広がりつつある。

# 03.みんながずっと元気なまち

R7評価 <R6実績>

«保健／医療／福祉»

10年後のめざす姿 : 保健医療福祉の充実や支え合いにより、誰もが健やかに暮らしている

<重点KPI>

・自分は健康であると感じていますか？（市民アンケート）

75.2%（R6現状値） ⇒ **75.2%（R6実績値）** ⇒ 80%（R16目標値）

変えないこと（主な成果）



- サロンや運動及び身体活動、レクリエーションの充実による社会参加支援
- 自ら健康づくりに取り組む人を増やし、いきがいをもって暮らせるまちづくり
- 保健・医療・介護の仕事への理解促進を目的とした広報・啓発



塩分ひかえめは、愛情の新しいカタチ  
うんなん愛の減塩プロジェクト事業<保健事業>

変えること（主な課題）



- 情報発信の強化と、一人ひとりが望む活動を継続するための支援
- 働き盛り世代が自然に健康づくりに取り組めるための支援
- 人材不足が進む、医療・介護・福祉分野の人材確保策の検討

ネクスト  
アクション

- ・働き盛り世代への情報発信による健康づくりへの取組の促進
- ・即戦力人材の獲得と次世代人材の育成を視野に入れた持続可能な人材確保策の検討・実施

### <03. みんながずっと元気なまち> 成果指標（KPI）の状況

成果指標（KPI）	単位	実績値					目標値	実績値に対する評価
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R11年度	
65歳平均自立期間（SHIDSデータ）男性（5年平均値）	年	18.46	18.56	18.58	18.70	<b>18.60</b>	19.20	個別医療機関の健診受診者が増加。健康づくりに取り組む高齢者が増加する一方、男性参加者の増加は少ない。
65歳平均自立期間（SHIDSデータ）女性（5年平均値）	年	21.49	21.75	21.83	21.86	<b>22.03</b>	22.4	個別医療機関の健診受診者が増加。健康づくりに取り組む高齢者が増加。
介護サービスを受けている要介護等認定者の割合	%	85.3	84.7	84.2	83.9	<b>84.2</b>	85.0	介護・福祉サービス事業所の人材不足が進んでいる一方、事業所の撤退等によるサービス不足を懸念。
安心して市内の医療機関を利用できると感じる市民の割合〈市民アンケート調査〉	%	80.1	81.4	81.1	79.7	<b>73.3</b>	80.0	診療所の閉院、移動手段、他圏域での受診などの影響。
【新規】障がいのある方が地域活動に参加しやすいように配慮されていると感じる市民の割合〈市民アンケート調査〉	%	-	-	-	-	<b>32.4</b>	50.0	事業所による障がいのある人への合理的配慮の提供が義務化されたが、障がいに対する理解は広まっていない。
住み慣れた地域で安心して暮らしている高齢者の割合〈市民アンケート調査〉	%	76.8	78.3	75.0	74.0	<b>71.9</b>	75.0	高齢者のみの世帯、高齢者と障がい者のみの世帯等が増え、買い物支援、移動手段等の課題もある。

# 04. みんなで子どもを育てるまち

《結婚／出産／子育て》

10年後のめざす姿： 家族や地域の温かなつながりの中で安心して子どもを育てられている

## <重点KPI>

### ①雲南市は子育てしやすいまちであると感じますか？

(市民アンケート) 72.3% (R6現状値) ⇒ **72.3% (R6実績値)** ⇒ 80% (R16目標値)

### ②合計特殊出生率

1.50% (R5現状値) ⇒ **1.50% (R5実績値)** ⇒ 1.80% (R16目標値)

#### 変えないこと (主な成果)



- 子育て支援事業の充実・子育てに係る手続きの利便性向上
- 若い世代でも子育てを含めた将来のライフプランを考える取り組み
- 広域による交流の場の創出や地域団体との連携した結婚支援の取り組み



地域の自然に触れて遊ぶ  
< 保育所運営事業 >

#### 変えること (主な課題)



- 必要な人に必要な支援を届けるための情報発信の強化
- こどもが安心して過ごせ、子育てしながら働ける環境づくり
- 青年期から結婚や子育てに興味を持つ機会の創出と、若者が集う交流や出会いの機会の確保

ネクスト  
アクション

地域・民間団体等と連携し、子育てしやすい環境を創出

## <04. みんなで子どもを育てるまち> 成果指標（KPI）の状況

成果指標（KPI）	単位	実績値					目標値	実績値に対する評価
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R11年度	
子育て支援に関する行政サービスが整っていると感じる保護者の割合〈市民アンケート調査〉	%	83.3	83.3	79.2	78.7	<b>75.5</b>	80.0	ニーズが多様化するなか、行政サービスの内容は拡充してきており、一定の水準を維持している。
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある保護者の割合（3歳児健診）	%	78.9	78.4	70.1	73.1	<b>76.3</b>	80.0	乳幼児期の支援を丁寧に行うことにより、一定の水準を維持している。
地域の子育てに対する理解や関心が高いと感じる保護者の割合〈市民アンケート調査〉	%	75.9	67.2	72.7	75.6	<b>67.1</b>	80.0	地域内の環境（関係性）が変化するなか、地域において、子育てに対する取り組みが実施されている。
【新規】子育てしながら働きやすいと感じる保護者の割合〈市民アンケート調査〉	%	-	-	-	-	<b>52.3</b>	70.0	仕事と子育てに係る制度も充実し、職場の理解が進みつつある。
地域の子どもを育てようと活動している市民の割合〈市民アンケート調査〉	%	26.2	26.1	25.6	25.2	<b>23.4</b>	30.0	地域では、一部の人が中心となって活動している。
結婚に関するイベント参加者数	人	-	-	-	89	<b>45</b>	60	イベント数が減ったことから、参加者も減った。

# 05. 人の輪が広がるまち

《移住定住 / 人材還流 / 関係人口》

10年後のめざす姿 : 雲南に愛着を持ち、まちづくりに関わる人の輪が広がっている

## <重点KPI>

① 人口の社会動態 ※転入と転出による人口の増減	▲140人 (R5現状時)	⇒	▲ <b>132人</b> (R6実績値)	⇒	+50人 (R16目標値)
② UIターン者数	123人 (R5現状値)	⇒	<b>123人</b> (R6実績値)	⇒	180人 (R16目標値)

### 変えないこと (主な成果)



- 住まいの支援対策等により子育て世帯が移住定住しやすい環境づくり
- 高校卒業後もふるさととつながり、雲南市に帰りたと思う人が増える体制づくり
- 暮らしの体験や多様な働きができる場の提供による移住定住の促進



市内で働くロールモデルなど掲載した情報誌  
<高校卒業生とのつながり創出事業>

### 変えること (主な課題)



- 若者や女性のニーズにあった、多様な働き場の確保
- 市内事業所の情報発信を強化し、東京圏等の学生とのつながりの強化
- 農ある暮らし等の体験の機会の創出

## ネクスト アクション

- ・ 高校生等の若者世代へ、雲南市の暮らしや仕事の魅力を伝え、つながりを強化
- ・ 雲南で暮らし働きたい若者世代がキャリア相談できる場の提供

## <05. 人の輪が広がるまち> 成果指標（KPI）の状況

成果指標（KPI）	単位	実績値					目標値	実績値に対する評価
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R11年度	
20歳～39歳の社会動態	人	▲107	▲182	▲114	▲113	▲81	99	社会動態は改善傾向にあるものの、目標値からは大幅に下回っている。
市内高校生の市内企業就職率	%	40.0	45.2	46.9	39.9	24.1	40.0	進学率の増加に伴い、高卒の就職希望者が減少している。県内市外の企業への就職が増えており、市内の就職率が下がっている。
20歳～39歳の転入者人口 （住民基本台帳）	人	421	371	419	458	430	519	若者世代の転入者数は減少したものの、一定程度の転入者がある。
【新規】高校卒業生とのつながり 事業からUターンされた人数（窓口アンケート）	人	—	—	—	—	—	30	R7年度から実施するアンケートにより、Uターンされた人数を評価する。
Uターンの相談件数／移住件数	件	—・5	—・5	10・8	8・11	12・3	20・20	移住相談者のうちUターン者数は少なく、年度毎に多少の増減はあるがほぼ横ばいである。
体験プログラム体験者の移住件数 ／移住者数	件/人	5・14	4・11	9・19	1・1	3・8	9・20	1年以内の移住に至る人は少ないが、長期的計画的に移住を検討いただき、移住につながっている。

## 06.心の豊かさを実感できるまち

«スポーツ／文化»

10年後のめざす姿 : 楽しみながら、自分らしい豊かな暮らしが実現できている

&lt;重点KPI&gt;

・スポーツや文化芸術に親しんでいますか？（市民アンケート） ※R6現状値はR6.10アンケート結果、実績値はR7.3アンケート結果

31.7%（R6現状値）

⇒

**34.6%（R6実績値）**

⇒

50%（R16目標値）

変えないこと（主な成果）



○スポーツ施設の整備・管理や指導者の確保などスポーツを「する」「みる」「ささえる」ための取組を実施

○文化企画事業・イベント等の拠点である加茂文化ホールの改修整備

○「菅谷たたら山内」の適切な保存のための整備を実施

雲南市長杯少年少女レスリング選手権大会  
<国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会事業>

変えること（主な課題）



○中学校部活動の地域展開を進める

○国スポ・全スポに向けた気運醸成に取り組む

○文化芸術活動が継続され、より多くの人々が文化活動を楽しめる環境を整備する

○文化財に関するマスタープラン（アクションプラン）を策定し、計画的な保存・活用に取り組む

ネクスト  
アクション

- ・多くの市民がスポーツや文化芸術活動に参加できる環境の整備
- ・市民共通の財産である文化財の保存と活用

## <06.心の豊かさを実感できるまち> 成果指標（KPI）の状況

成果指標（KPI）	単位	実績値					目標値	実績値に対する評価
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R11年度	
週1回以上（1回30分以上）スポーツや運動をしている市民の割合 〈市民アンケート調査〉	%	32.3	32.6	34.1	34.8	<b>30.1</b>	45.0	昨年度と比較し木次、吉田、掛合で大きく減少し、全体としても運動をしていない人の割合が約4%増加するなど全体的に運動頻度の減少傾向が見られた
【新規】スポーツに取り組める場所や機会があると感じる市民の割合 〈市民アンケート調査〉	%	-	-	-	-	<b>43.5</b>	50.0	「スポーツの実施状況等に関する世論（R6.11：スポーツ庁）」の「20歳以上のスポーツ実施率（週1回以上）52.5%」と比較すると10ポイント程度低くなっている
【新規】文化芸術（音楽、演劇、舞踊、美術、伝統芸能、文学など）に関する活動をしている市民の割合 〈市民アンケート調査〉	%	-	-	-	-	<b>16.3</b>	20.0	「文化に関する世論調査（R6：文化庁）」の「文化芸術活を実践したり、活動を支援した方の割合 13.6%」と概ね同様の傾向にあると思われる
【新規】文化芸術活動に取り組める場所や機会があると感じる市民の割合 〈市民アンケート調査〉	%	-	-	-	-	<b>35.7</b>	45.0	市内の地域、年齢による割合の格差はほとんど見られなかった
【新規】歴史や文化を次世代に伝える（又は後世に残す）ため、何らかの活動（地域の伝統文化の伝承、歴史的景観の保護・保存、ボランティア活動など）をしている市民の割合 〈市民アンケート調査〉	%	(10.1)	(9.8)	(10.5)	(11.0)	<b>14.2</b>	15.0	前年までの類似のアンケート値との比較では若干上昇が見られた

# 07.ふるさとを学び育つまち

「教育」

10年後のめざす姿 : 地域の温もりの中で学びあい、ふるさと雲南を愛する人にあふれている

<重点KPI>

・将来も雲南市に貢献したいと思いませんか？（市内高校生意識調査）

72.5%（R5現状値） ⇒ **71.5%（R6実績値）** ⇒ 80%（R16目標値）

変えないこと（主な成果）



- こどもを真ん中に据え、一人ひとりが尊重される教育の推進
- 地域とともにある学校づくりとふるさと教育・キャリア教育の継続
- 一人ひとりの学びの特性や発達段階に応じた、個別最適な学びの機会の提供



ふるさとの伝統文化を学ぶ子どもたち  
<地域とともにある学校づくり推進事業>

変えること（主な課題）



- 幼児期から高校まで、学びの接続と連続性を強化する体制の構築
- 部活動の地域展開をさらに推進し、指導体制の強化と地域間格差の解消
- ICTを活用した授業改善と教職員のデジタルスキルの向上

ネクスト  
アクション

・地域・学校・家庭が連携し、教育環境の整備や地域リソース・ICTの活用など、多様な学びと支援の体制を拡充する

## <07. ふるさとを学び育つまち> 成果指標（KPI）の状況

成果指標（KPI）	単	実績値					目標値	実績値に対する評価
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R11年度	
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童・生徒の割合（小6、中3、高3）	%	—	—	小:53.5 中:54.2 高:—	小:74.6 中:73.4 高:—	小:68.2 中:73.2 高:77.9	小:80.0 中:80.0 高:80.0	小学生は減少傾向で参画意識の育成が課題。中学生は高水準を維持しており、キャリア教育の効果が表れている。
将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合（小6、中3、高3）	%	—	—	小:79.4 中:64.2 高:—	小:83.2 中:60.5 高:—	小:77.2 中:70.9 高:85.7	小:80.0 中:80.0 高:80.0	小学生はやや低下し支援の充実が課題。中学生は大幅に上昇しており、体験活動や探究活動の成果が見られる。
学校に行くのは楽しい児童・生徒の割合（小6、中3）	%	—	—	小:86.8 中:83.9	小:86.0 中:85.9	小:84.2 中:83.1	小:90.0 中:90.0	小中ともに高水準を維持。学級づくりや多様な活動の工夫が、満足度向上に寄与している。
【新規】授業で学んだことを普段の生活のなかで活かすことができると思う児童・生徒の割合（小6、中3）	%	—	—	—	—	小:81.9 中:78.2	小:80.0 中:80.0	小中ともに目標に近く、生活とつながる学びの工夫が実を結びつつある。
【新規】学校・家庭・地域には、自分の意見を聞いてもらえる場や機会があると思う児童・生徒の割合	%	—	—	—	—	小:83.9 中:85.1	小:80.0 中:80.0	小中ともに高水準で、児童会や生徒会活動、地域交流など対話の場が機能していることがうかがえる。
【新規】学校・家庭・地域が協力してこどもの学びを支え合っていると思う市民の割合（市民アンケート調査）	%	—	—	—	—	51.4	60.0	全体では低調で、世代や地域で意識差が大きく、情報発信や連携の強化が求められる。

# 08.チャレンジが生まれるまち

《人材の育成・確保》

10年後のめざす姿

チャレンジしやすい環境が広がり、多分野で多様なチャレンジが生まれている

<重点KPI>

・チャレンジしやすいと感じますか？（市民アンケート）

40%（R6現状値）

⇒

**40%（R6実績値）**

⇒

50%（R16目標値）

変えないこと（主な成果）



○スペシャルチャレンジjr.プログラムの充実など魅力ある教育環境づくり

○まちづくり実践者の学び合いのコミュニティ「seedラボ」の立ち上げ（6テーマに約140名が参加）

○起業型地域おこし協力隊による新たなビジネスモデルの創出



自身のチャレンジを共有する大学生  
<雲南コミュニティキャンパス事業>

変えること（主な課題）



○様々な地域資源（歴史文化、自然環境、農地山林など）を活かした地域を学び・理解を深める場・プログラムの充実

○介護や農林業など人材不足が進む分野の人材確保策の検討

○市民のチャレンジを長期的・安定的に支えるための新たな財源の確保

ネクスト  
アクション

- ・雲南での多様な学びを提供するプログラムの構築と運営体制の確立
- ・チャレンジを支える新しい資金調達の仕組みづくり

## <08. チャレンジが生まれるまち> 成果指標（KPI）の状況

成果指標（KPI）	単位	実績値					目標値	実績値に対する評価
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R11年度	
スペシャルチャレンジ制度への申請件数	件	27	36	18	22	<b>24</b>	30	申請件数は遡増しており、多分野で多様なチャレンジが生まれている。
地域（社会）課題解決に資する新事業創出数	件	5	4	3	6	<b>5</b>	10	起業を志す若者のコミュニティが形成され、安定的にビジネスモデルの創出が図れている。
チャレンジしやすいまちであると感じる高校3年生の割合 〈高校3年生アンケート調査〉	%	75.3	89.6	88.9	—	<b>88.3</b>	80.0	目標値を超え、高い水準を維持できている。
【新規】チャレンジしやすい環境（相談できる場、人）があると感じる市民の割合 〈市民アンケート調査〉	%	—	—	—	—	<b>39.7</b>	50.0	4割弱にとどまっており、どのような場や体制があるとよいか検討が必要。
【新規】誰かのチャレンジを応援（資金、人材紹介、活動支援など）した市民の割合 〈市民アンケート調査〉	%	—	—	—	—	<b>13.4</b>	30.0	関係団体とも連携しながら応援機会を創出していく必要がある。
応援性資金の流通額（クラウドファンディング、投資等）	千円	4,632	7,661	3,100	17,534	<b>51,512</b>	80,000	クラウドファンディング型ふるさと納税の活用が年々広がっている。

# 09.みんながみんなを大切にすまち

10年後のめざす姿 : 「『平和を』の都市宣言」の精神に基づき、お互いの価値観を尊重し、  
みんながいきいきと安心して暮らしている。

## <重点KPI>

・性別などに関係なく誰もが平等に扱われていると感じますか？ (市民アンケート)

65.1% (R6現状値)



**65.1% (R6実績値)**



80% (R16目標値)

### 変えないこと (主な成果)



- 「永井隆平和賞」を実施し、明るい日本の未来づくりの一助となる取組
- うんなんヒューマンライツ・フェスタを実施するなどの人権啓発活動
- 多文化共生プランに基づき、外国人住民が安心して生活できる環境づくり
- 困難な課題を抱える市民に対する支援事業



ヒューマンライツ・フェスタ2024  
<地域人権啓発活動活性化事業>

### 変えること (主な課題)



- 「平和を」の都市宣言の精神の発信
- 人権啓発 (特にアンコンシャス・バイアス) について、自治会等の小さい単位での学びの場
- 外国人労働者・男女・若者・障がい者に対する企業の意識を高める活動
- より相談しやすい窓口の必要性

## ネクスト アクション

- ・自治会単位での人権啓発事業の推進
- ・地域自主組織と連携した外国人住民との相互理解を深めるための研修会等の実施

## <09. みんながみんなを大切にすまち> 成果指標（KPI）の状況

成果指標（KPI）	単位	実績値					目標値	実績値に対する評価
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R11年度	
自分自身が差別や人権侵害受けたことがあると感じる市民の割合 〈市民アンケート調査〉	%	12.0	11.8	11.9	11.6	<b>11.3</b>	10.0	横ばい状態が続いている傾向にある。
研修会参加人数（地域自主組織・自治会等）	人	508	293	872	1,364	<b>2,109</b>	2,000	雲南市人権・同和教育推進協議会の補助金もあり、研修会の開催回数も増加し、参加人数も増加している。
平和に関する活動に参加した市民の割合 〈市民アンケート調査〉	%	10.1	9.7	10.9	12.2	<b>13.8</b>	18.0	市民意識が徐々に高まってきている。
市内事業所の女性管理職の登用割合	%	—	19.4	19.8	22.3	<b>20.9</b>	30.0	令和5年度から市内事業所に取り組みを進めているが、横ばい傾向である。
市の関係する審議会などの女性委員の割合	%	24.4	27.0	28.4	28.7	<b>30.6</b>	40.0	審議会の女性委員の比率は、徐々に改善してきている。
障がい者雇用率	%	2.23	2.57	2.57	2.84	<b>2.82</b>	2.70	法定雇用率2.5%が適用される市内民間企業30社のうち21社が達成している。

# 10. 挑戦し活力を産みだすまち

《農林業・商工業／経済》

10年後のめざす姿：新しい発想や挑戦により稼ぐ力が高まっている

<重点KPI>

## ・市内総生産額

1,253億円 (R3現状値) ⇒ **1,298億円 (R4実績値)** ⇒ 1,315億円 (R16目標値)

### 変えないこと (主な成果)



- ブランド米の作付推進及び知名度の向上 (R6：全国ブランド米産地生産者交流大会の開催)
- 市内林業事業者が外部人材や企業と連携し、リモートセンシング技術の導入や木材流通・販売を実施する取組
- 新商品開発補助金の活用による地域資源を活かした商品開発



全国ブランド米産地生産者交流大会in島根  
<ブランド米推進作付支援事業>

### 変えること (主な課題)



- 安全で安心な農畜産物の生産による付加価値化及び農家所得の向上
- 新たな木材需要先の開拓及び生産力の向上
- 市内での消費拡大及び都市圏に向けた販路拡大の強化
- UIターン者の受け皿になる多様な企業の誘致

ネクスト  
アクション

・農林業事業者・商工業事業者の連携による地域資源の活用と情報発信の強化

## <10. 挑戦し活力を産みだすまち> 成果指標（KPI）の状況

成果指標（KPI）	単位	実績値					目標値	実績値に対する評価
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R11年度	
ブランド米作付面積	ha	62.0	84.0	82.7	84.2	<b>83.0</b>	100.0	猛暑による高温障害により、認定率が下がっているが、作付面積としては横ばいとなっている。
産直の販売額	百万円	275	261	273	276	<b>270</b>	280	産直会員は高齢化により減少しており担い手不足となり、生産量は減りつつあるが、販売額としては横ばいとなっている。
地元購買率（市民アンケート）	%	90.8	83.8	85.8	87.3	<b>89.1</b>	90.0	地元購買の意識は、一定水準が確保されている。林業は規模は小さいが、域内消費が意識されている。
市内林業事業体の新規雇用者数	人	7	4	4	2	<b>10</b>	10	毎年林業事業体の新規雇用があり、人材確保が図られている。
市外からの企業立地認定数	件	0	2	0	2	<b>1</b>	1	製造業以外の企業（ソフト産業、宿泊業）の認定件数が増えている。
市の補助金活用によって生み出された商品数	件	7	7	8	9	<b>7</b>	10	新商品は毎年8個程度出ており、地域資源の活用が図られている。

# 11. みんなのたからを誇るまち

「観光／ブランディング」

10年後のめざす姿：世界に誇る歴史文化や資源を通じて国内外の雲南ファンとつながっている

<重点KPI>

## ・観光消費額

23.7億円 (R5現状値) ⇒ **24.1億円 (R6実績値)** ⇒ 36.5億円 (R16目標値)

### 変えないこと (主な成果)



- 都市圏からの誘客促進を目指した広域的で効果的な魅力の発信
- 観光列車の地元ガイドや停車駅での地域のあたたかさを感じるおもてなし
- 神話や神楽、名所百選の名勝などの観光資源と焼き鯖や奥出雲和牛など地元食材で仕上げた特製メニュー



体験メニューを楽しむインバウンド客  
<雲南市観光協会補助金>

### 変えること (主な課題)



- 行政視察やMICE、スポーツイベント等の誘致による誘客、宿泊を伴う誘客
- 出雲空港からの二次交通対策・誘客事業の推進
- 観光協会を中心に民間との連携による魅力的で高付加価値な体験コンテンツの造成

ネクスト  
アクション

地域の連携・協力による体験コンテンツや  
新たな観光商品の造成による収益性の向上

## <11. みんなのたからを誇るまち> 成果指標（KPI）の状況

成果指標（KPI）	単位	実績値					目標値	実績値に対する評価
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R11年度	
観光協会HPの年間アクセス件数	件	289,982	315,724	383,463	389,377	<b>385,687</b>	500,000	例年の情報を丁寧に継続して行うことで、現状を維持している。
観光実態調査結果（満足度：宿泊・日帰り）	%・%	—	—	—	72・60	<b>72・60</b>	80・80	評価区分の「満足」のみの割合を集計している。「やや満足」を含めると90%を超えており、高評価である。
市内の宿泊者数	人	21,495	23,616	28,101	28,418	<b>21,757</b>	56,200	物価高騰などの影響から宿泊者数が減少している。県内各地の宿泊者数もバラつきがある。
外国人の市内宿泊者数	人	3	0	4	154	<b>30</b>	500	R5年は台湾からの団体視察があり数値が伸びたが、R6年は団体利用が無いため減少となった。
体験コンテンツホームページ掲載数	件	—	—	—	—	<b>16</b>	30	体験コンテンツの造成、市観光協会ホームページの掲載に加え、冊子を作成して誘客に努めた。
観光ガイド実績（件・人数）	件・人	33・643	50・864	66・1,741	63・1,331	<b>54・1,148</b>	70・1,500	団体ツアーが減っており、これに伴い観光ガイドの需要も減少した。

# 12. 自然の恵みがめぐるまち

《自然環境／エネルギー／循環型農業》

10年後のめざす姿 : 自然の恵みを生かした持続可能な循環モデルが確立されている

<重点KPI>

・脱炭素に関する取り組みをしていますか？（市民アンケート）

60.1%（R6現状値）



**60.1%（R6実績値）**



90%（R16目標値）

変えないこと（主な成果）



- 森林資源や再生可能エネルギーを活用した脱炭素社会実現への取組
- 生きもの調査やコウノトリに関する学習会など生物多様性の環境づくり
- 環境学習を通じたごみの減量・資源化の取組



キエーロコンポストの製作風景  
<脱炭素社会構築推進事業>

変えること（主な課題）



- 雲南らしさをいかした脱炭素社会の実現に向けた理解促進、普及啓発の充実
- 生物多様性の保全への市民理解や活動支援の充実
- 低コストな環境保全活動の検討

ネクスト  
アクション

- ・ 公共施設へ太陽光発電・蓄電池設備を導入し理解促進を進める
- ・ キエーロコンポストや廃食油回収など学習会を通じて行動変容を促す

## <12. 自然の恵みがめぐるまち> 成果指標（KPI）の状況

成果指標（KPI）	単位	実績値					目標値	実績値に対する評価
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R11年度	
【新規】家庭に再生可能エネルギー設備（太陽光発電、太陽熱給湯機、薪ストーブなど）を導入している市民の割合〈市民アンケート調査〉	%	—	—	—	—	<b>26.0</b>	35.0	電気料金高騰もあり、市民の関心は高い。
建築物の新築、増改築での市産材利用量（補助金ベース）	m <sup>3</sup>	83.6	133.1	143.7	117.1	<b>46.3</b>	150.0	毎年一定数の新築着工はあるが、大手ハウスメーカー案件が増え市産材利用は年度によりばらつきがある。
自然環境が守られていると感じる市民の割合〈市民アンケート調査〉	%	74.3	74.9	73.5	78.2	<b>57.8</b>	75.0	耕作されない農地が増えている。高齢につれて、守られてないと感じている。
環境保全型農業の実施面積	m <sup>2</sup>	6,068	7,174	7,529	7,446	<b>11,847</b>	15,000	水稲における中干期間延長によるメタンガス抑制の取り組みが増えている。
【新規】環境保全に関する取り組みをしている市民の割合〈市民アンケート調査〉	%	—	—	—	—	<b>80.5</b>	85.0	市民の関心も高く環境配慮への取り組みは今後増加すると思われる。
市民1人1日当たりのごみ排出量	g/ 人・日	767	736	849	722	<b>717</b>	700	キエーロコンポストの活用や廃食油回収などの取り組みを開始したことでごみの排出量が減少傾向となっている。